

リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立松原小学校（愛知県）【協力校】

【取組内容】②情報活用能力の育成に向けた習得目標の共有とチェックシートの活用

R6松原 情報活用能力習得目標表				
※下学年にあるものは習得している前提です。習得できていないようであるなら、下学年の内容も行ってください。				
学年	習得すべき端末スキル	情報モラル・セキュリティ プログラミング	問題解決(思考ツール) ここに載っているもの以外も 活用してもらって構いません 参照: taizan-lab	
1年	☐ 端末の電源ON・OFF	☐ 教室のPC使用のルール（かばん）	☐ X/Y/Wチャート 分類する	
	☐ 端末の持ち方・保管	☐	☐ ペン図 比較する	
	☐ ログイン・ログアウト	☐ （プログラミング）	☐ イメージマップ 広げてみる	
	☐ 拡大縮小	☐ ネットモラル	☐	
	☐ ファイルを開く	☐	☐	
	☐ ファイルのアップロード（自分で）	☐	☐	
	☐ 描画ツールでのお絵描き	☐	☐	
	☐ タッチパッド（トラックパッド）操作	☐	☐	
	☐ アプリの起動	☐	☐	
	☐ 写真撮影	☐	☐	
	☐ 画像挿入	☐	☐	
	☐ 手書き入力での文字入力	☐	☐	
	☐ 課題（動画・写真含む）の提出（提出ボタン）	☐	☐	
	☐ 教材・リンクショートカットを開く	☐	☐	
	☐ スクリーンショット（全画面・部分選択）	☐ 作品鑑賞のマナー（図・音・書）	☐ クラゲチャート 理由づける	
2年	☐ ローマ字入力	☐ （プログラミング）	☐ フィッシュボーン 多面的	
	☐ 文字装飾（文字サイズ、フォント、色等）	☐ ネットモラル	☐ 座標軸 分類する	
	☐ 教材書き込み	☐	☐	
	☐ meet体験	☐	☐	
	☐ 動画撮影	☐	☐	
	☐ ホームポジション	☐	☐	
	☐ 共同編集	☐	☐	

令和6年度版情報活用能力習得目標表（一部）

項目	選択
1 ① アプリで動画を編集すること	まあまあ自信あり
2 ① インターネットや新聞などの情報を伝えるメディアの特徴をよく考えること	まあまあ自信あり
3 ① プログラムで、コンピュータが動いていることをよく考えること	まあまあ自信あり
4 ① コンピュータのプログラムを作ったり、直したりすること	自信あり
5 ① 手順を図で表すこと	まあまあ自信あり
6 ② 地図や図書などの資料から調べること	まあまあ自信あり
7 ② ものごとの全体と中心をつなげて考えること	自信あり
8 ② ものごとを分類して考えること	まあまあ自信あり
9 ② ものごとを分解したり、まとめたりして考えること	まあまあ自信あり
10 ② 資料から、特徴、傾向、変化を読み取ること	まあまあ自信あり
11 ② 声の大きさや間の取り方を工夫して発表すること	自信あり
12 ② 調べたりまとめたりしたことを振り返り、改善すること	自信あり
13 ② インターネットや新聞が伝える情報には、発信者の意図が含	まあまあ自信あり

情報活用能力チェックシート

各発達段階で身につけさせたい情報活用能力を「習得目標表」に整理し、全校で育成を目指している。定期的にチェックボックスにレ点をつけることで、児童の学習経験に漏れがないように留意している。高学年では、「情報活用能力チェックシート」に定期的に自己評価をさせることで、児童が自らの資質・能力を自覚し、振り返りながら自己調整的に情報活用能力を高めていけるようにしている。